

高知県感染症発生動向調査（週報）

2024年 第19週 （5月6日～5月12日）

★県内での感染症発生状況

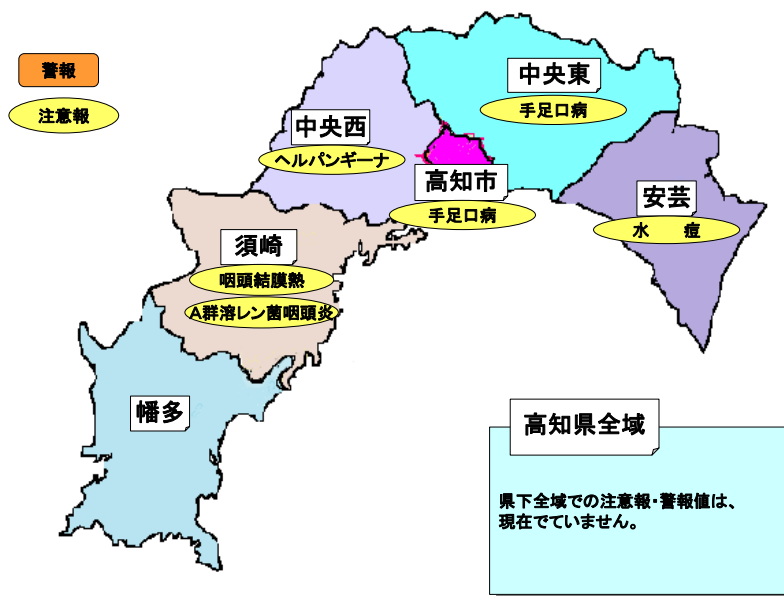
インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所別の傾向
感染性胃腸炎	↑	2.36	高知市で減少していますが、安芸、中央西、須崎で急増、中央東、幡多で増加しています。
新型コロナウイルス感染症	→	2.34	須崎で急増、中央西、安芸で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	2.24	中央東で急減していますが、須崎、幡多、中央西で急増、高知市で増加しています。
手足口病	↑	1.40	安芸、中央西で減少していますが、中央東、幡多で急増しています。
RSウイルス感染症	→	0.88	中央西、幡多で急減していますが、須崎、中央東で急増しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合
増加	↑	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合
減少	↓	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

★感染症予防の基本

感染症は、咳やくしゃみの飛沫によって拡散されます。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

《咳エチケット》

- ・くしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- ・咳やくしゃみが出ている時は、できるだけマスクを着けること。
- ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時は、すぐに手を洗うこと。

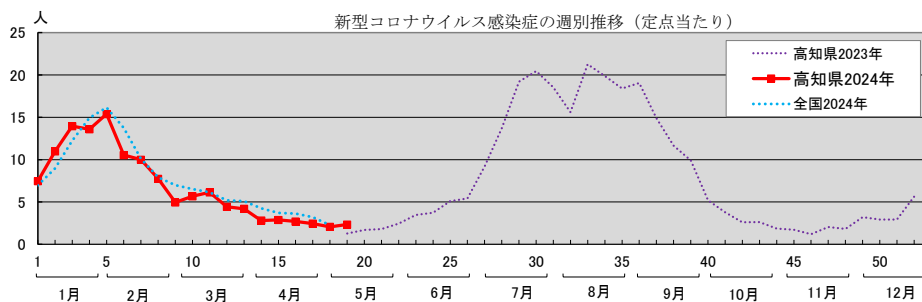


★県内で注目すべき感染症 ～注意点や予防方法～

新型コロナウイルス感染症

●定点医療機関からの報告数

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第15週 4/8～4/14	127	2.89
第16週 4/15～4/21	119	2.70
第17週 4/22～4/28	108	2.45
第18週 4/29～5/5	91	2.07
第19週 5/6～5/12	103	2.34



・新型コロナウイルス感染症定点医療機関数：44

・新型コロナウイルス感染症の届出基準：発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を有する者について分離・同定による病原体の検出、病原体遺伝子の検出、抗原定性検査・抗原定量検査による抗原の検出などの検査方法により新型コロナウイルス感染症と診断した場合。又は発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む）を呈する者であって新型コロナウイルス感染症であることが確定した者と同居している者であり医師が総合的に診断した場合。

●予防方法

*手洗い・消毒は感染予防に特に有効です。

*密閉・密集・密接の回避と家やオフィスなどの換気を十分にしましょう。

*医療機関受診時や混雑した電車やバスに乗車する時など、効果的な場面でのマスク着用をお願いします。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

夏型感染症（手足口病・ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱）

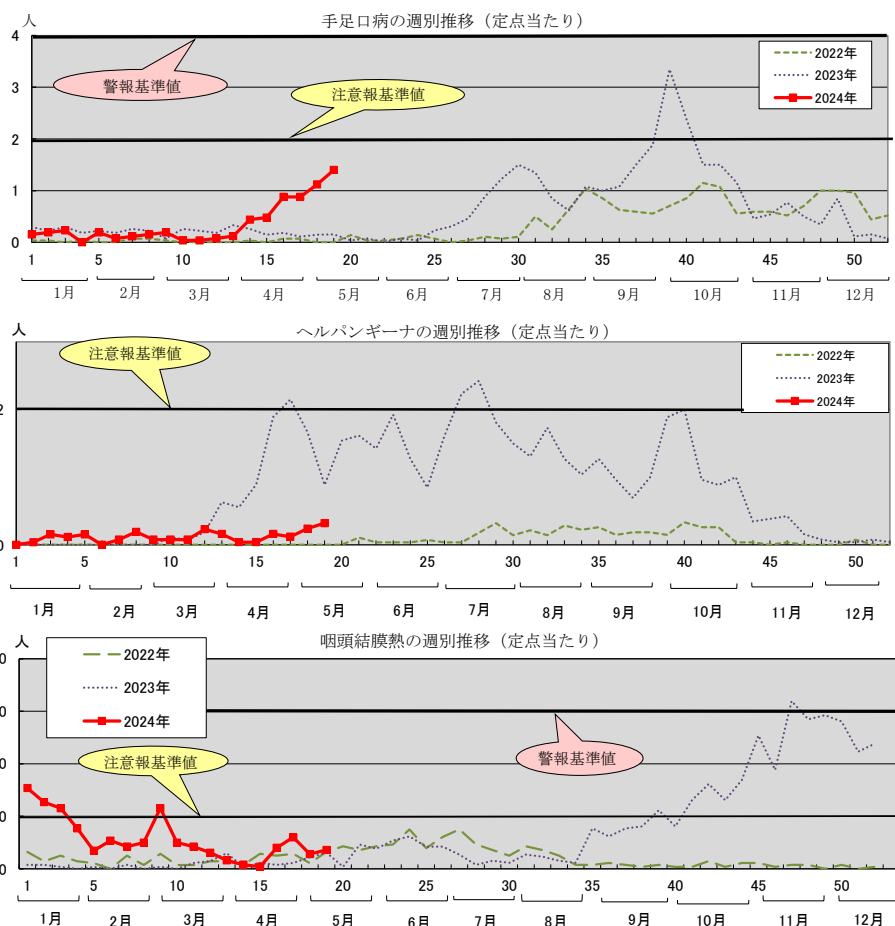
夏型感染症は、例年、6月頃から5歳以下の乳幼児を中心に報告数が増えはじめ、7～8月頃にピークとなります。

手足口病は、通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。

ヘルパンギーナは、夏から秋にかけて流行する疾患で、発熱と口腔粘膜に形成される水疱性の発疹を主症状としたいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。

咽頭結膜熱は発熱・咽頭炎及び結膜炎を主症状とするアデノウイルスによる急性の感染症です。潜伏期は5～7日で、症状は発熱、咽頭炎（咽頭発赤、咽頭痛）、結膜炎が三主症状です。プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。

手足口病やヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。



●予防方法

- *手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- *タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- *回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

●学校感染症

手足口病・ヘルパンギーナ：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

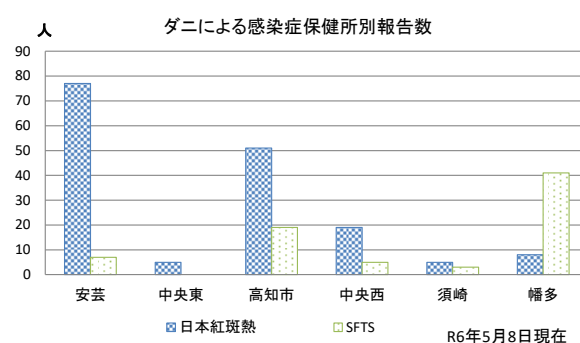
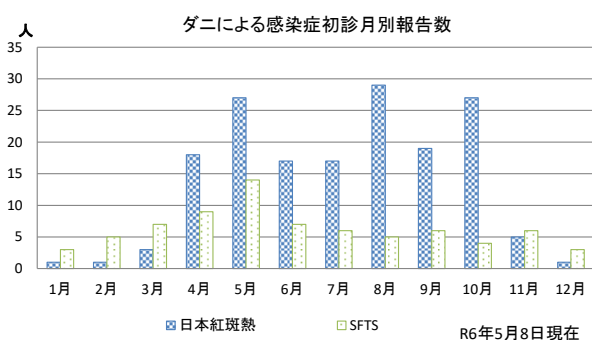
咽頭結膜熱：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「主要症状が消失した後2日を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないとして規定されています。

ダニの感染症(SFTS・日本紅斑熱)

「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」や「日本紅斑熱」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。この時期は、人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。また、ネコやイヌなどの動物がSFTSウイルスに感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接触れることで感染する可能性があります。

ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。



●予防方法

- マダニに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
- 野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンで肌の露出を避けましょう。
- 虫除け剤（有効成分：ディート）も有効です。
- 飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- 体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

- 野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- 受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●参考

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★病原体検出情報

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
17	手足口病	発疹	1	女	須崎	Adenovirus 5
17	手足口病	39℃,口内炎	2	男	須崎	Coxsackievirus A6

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	ノロウイルス感染症 4 例（1 歳男 2 人、1 歳女 2 人） 管内保育園で 1 歳児を中心にノロウイルス感染症流行中
	JA 高知病院小児科	水痘 1 例 手足口病 4 例 突発性発疹 2 例 マイコプラズマ感染症 3 例 溶連菌 1 例 アデノウイルス 1 例 インフルエンザ・COVID-19 0 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 RS ウイルス気管支炎 3 例 COVID-19 2 例 インフルエンザ B 型 2 例
	福井小児科・内科・循環器科	アデノウイルス感染症 1 例（6 歳女） 手足口病 5 例 溶連菌感染症 3 例 インフルエンザ B 型 2 例 COVID-19 3 例
	細木病院小児科	アデノウイルス+RS ウイルス感染症 1 例（1 歳女） アデノウイルス感染症 1 例（2 歳女） 溶連菌感染症 9 例 インフルエンザ B 型 1 例
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ B 型 2 例
須 崎	もりはた小児科	RS ウイルス感染症 5 例増加傾向有 溶連菌感染症 8 例 インフルエンザ・COVID-19 は減少傾向続く
幡 多	渭南病院小児科	18w COVID-19 3 例（50 歳代女、80 歳以上男女）
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 1 例（4 か月男）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2024 年 5 月 13 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第19週 令和6年5月6日(月)～令和6年5月12日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	高知県						計	前週	全国(18週)	高知県(19週末累計)		全国(18週末累計)
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				R6/1/1～R6/5/12	R6/1/1～R6/5/5	
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	3	3	9	5	1		21 (0.48)	15 (0.34)	2,199 (0.45)	9,426 (214.23)	1,136,680 (230.70)	
	新型コロナウイルス感染症	7	29	36	11	9	11	103 (2.34)	91 (2.07)	11,089 (2.27)	5,734 (130.32)	681,002 (138.22)	
小児科 (25)	咽頭結膜熱			5		3	1	9 (0.36)	7 (0.28)	1,564 (0.51)	280 (10.77)	51,286 (16.39)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	24	7	9	15	56 (2.24)	27 (1.08)	8,328 (2.69)	1,810 (69.62)	211,838 (67.70)	
	感染性胃腸炎	10	18	19	3	3	6	59 (2.36)	46 (1.84)	8,029 (2.59)	1,599 (61.50)	290,111 (92.72)	
	水痘	2	1	1	1			5 (0.20)	6 (0.24)	330 (0.11)	61 (2.35)	7,664 (2.45)	
	手足口病	1	13	18	1		2	35 (1.40)	28 (1.12)	1,890 (0.61)	171 (6.58)	14,205 (4.54)	
	伝染性紅斑							()	2 (0.08)	77 (0.02)	12 (0.46)	1,230 (0.39)	
	突発性発疹		2				1	3 (0.12)	6 (0.24)	672 (0.22)	89 (3.42)	12,137 (3.88)	
	ヘルパンギーナ			1	7			8 (0.32)	6 (0.24)	238 (0.08)	58 (2.23)	1,967 (0.63)	
	流行性耳下腺炎			1				1 (0.04)	1 (0.04)	117 (0.04)	6 (0.23)	1,690 (0.54)	
	RSウイルス感染症		5	11		6		22 (0.88)	19 (0.76)	3,905 (1.26)	114 (4.38)	33,157 (10.60)	
眼科(3)	急性出血性結膜炎							()	()	8 (0.01)	()	149 (0.22)	
	流行性角結膜炎							()	()	298 (0.44)	11 (3.67)	6,680 (9.64)	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	5 (0.63)	145 (0.30)	
	無菌性髄膜炎							()	()	7 (0.01)	1 (0.13)	163 (0.34)	
	マイコプラズマ肺炎							()	1 (0.13)	67 (0.14)	12 (1.50)	804 (1.67)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	1 ()	()	13 (0.03)	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	6 (0.01)	6 (0.75)	118 (0.25)	
計 (小児科定点当たり人数)	23 (9.00)	72 (9.87)	125 (12.10)	35 (13.50)	31 (13.00)	36 (7.63)	322 (10.74)			38,833	19,395 (506.09)	2,451,039	
前週 (小児科定点当たり人数)	17 (5.50)	61 (8.29)	127 (12.36)	13 (4.50)	8 (3.00)	29 (5.63)		255 (8.33)					

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関) 定点当たり人数

第19週

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(18週)	高知県(19週末累計)	全国(18週末累計)
											R6/1/1～R6/5/12	R6/1/1～R6/5/5
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	0.75	0.30	0.64	1.25	0.25		0.48	0.34	0.45	214.23	230.70
	新型コロナウイルス感染症	1.75	2.90	2.57	2.75	2.25	1.38	2.34	2.07	2.27	130.32	138.22
小児科 (25)	咽頭結膜熱			0.56		1.50	0.25	0.36	0.28	0.51	10.77	16.39
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.17	2.67	3.50	4.50	3.75	2.24	1.08	2.69	69.62	67.70
	感染性胃腸炎	5.00	3.00	2.11	1.50	1.50	1.50	2.36	1.84	2.59	61.50	92.72
	水痘	1.00	0.17	0.11	0.50			0.20	0.24	0.11	2.35	2.45
	手足口病	0.50	2.17	2.00	0.50		0.50	1.40	1.12	0.61	6.58	4.54
	伝染性紅斑								0.08	0.02	0.46	0.39
	突発性発疹		0.33				0.25	0.12	0.24	0.22	3.42	3.88
	ヘルパンギーナ			0.11	3.50			0.32	0.24	0.08	2.23	0.63
	流行性耳下腺炎			0.11				0.04	0.04	0.04	0.23	0.54
	RSウイルス感染症		0.83	1.22			3.00	0.88	0.76	1.26	4.38	10.60
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.01		0.22
	流行性角結膜炎									0.44	3.67	9.64
基幹 (8)	細菌性髄膜炎									0.02	0.63	0.30
	無菌性髄膜炎									0.01	0.13	0.34
	マイコプラズマ肺炎								0.13	0.14	1.50	1.67
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.03
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.01	0.75	0.25
計 (小児科定点当たり人数)	9.00	9.87	12.10	13.50	13.00	7.63	10.74				506.09	
前週 (小児科定点当たり人数)	5.50	8.29	12.36	4.50	3.00	5.63		8.33				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2024年 第19週)

